

平成29年度 指定管理者評価シート

所 管 課	福祉部 地域福祉課
評価対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日

平成29年度 指定管理者評価シート<1> 指定概要 (指定管理者によりご記入をお願いします。)

施設概要	名 称	川西市緑台デイサービスセンター
	所 在 地	兵庫県川西市緑台6丁目1番地79
	設置目的	在宅の虚弱老人等に対し、通所の方法により各種のサービスを提供し、その福祉の向上を図るため、在宅老人の救護施設を設置する。
利 用 料 金 制	非利用料金制 ・ <u>一部利用料金制</u> ・ 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所 在 地	兵庫県川西市火打1丁目1番7号
指定管理業務の内容	<p>※ 指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>(1)老人福祉法第5条の2第3項に規定する老人デイサービス事業であって、通所の方法による入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練、介護方法の指導等に関すること。</p> <p>(2)デイサービスセンターの利用に関すること。</p> <p>(3)施設の利用料の徴収及び減免に関すること。</p> <p>(4)デイサービスセンターの施設及び付属設備の維持管理に関すること。</p> <p>(5)そのほか、市長が必要と認める業務に関すること。</p>	
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日	

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改
	善	善

施設名	川西市緑台デイサービスセンター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		B		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	B		B		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成
①法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	介護保険制度のもと、在宅の要支援、要介護者のプライバシー配慮を行うとともに、ケアプランに基づいた個別サービス計画書を作成し、総合事業・介護予防・通所介護サービスを提供しました。社協が運営するデイサービスとして他施設では受け入れが困難な利用者の体験利用を受け入れた。満身荘入所者など新規利用に繋がりました。	A	介護保険法に則り、ケアプランに基づいたサービス提供を行い、かつ、利用者のプライバシーに配慮しながら適切に対応している。また、他施設で受け入れが困難な方についても積極的に働きかけ、新規利用につなげるなど、利用者の立場に寄り添う運営に努めている。	意見なし
②利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	居宅介護事業所を通じて利用者を紹介して頂き、契約時にはご家族、ご本人ケアマネ立会いの下、重要事項や利用方法について説明しました。	A	ケアマネジャー同席のもと、利用者、家族に対して重要事項の説明を行うなど、適切な手続を行っている。	意見なし
③施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	C	地域の行事に参加しパンフレットの配布や居宅介護支援事業所への空き情報の提供を行いました。利用者の増加には繋がっていませんでした。	C	他の民間施設では受け入れ困難な利用者を積極的に受け入れているが、利用者は前年度より減少している。引き続き情報提供を行い、増加に努めること。	意見なし
<課題>		民間のデイサービスやリハビリ特化型サービスの増加により、新規利用者の減少が続いています。		収支バランスを整える必要があるため、新規利用者の増加に努めること。	意見なし
<改善内容>		緑台デイサービスの存在を周知するために居宅介護事業所への空き情報の提供を続けます。地域のグリーンフェスタでのパンフレットの配布を行いました。		引き続き、新規利用者獲得のため居宅介護支援事業所への広報活動等を行うこと。	意見なし
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	B		B		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況
①施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	在宅で生活を続けておられる要支援・要介護者へ送迎・入浴・食事・レクレーション・リハビリ等のサービスを提供して、ご本人の気分転換やご家族の介護負担軽減に努めました。	A	デイサービスとしての機能を全うしている。また、他施設では受け入れ困難な利用者も受け入れるなど、セーフティネットとしての機能も果たしている。	意見なし
②施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	C	新規利用者が16名増えましたが、解約者が32名となり、年度当初の契約者数60名より年度末には44名と16名の契約者減となりました。行事等を増やし、利用回数の増になるように努力しましたが、利用増には繋がっていませんでした。	D	新規利用者獲得に向けて広報活動をしているが、契約者数はさらに減少している。また、現契約者についてもサービスの利用回数は減少しており、改善が必要となる。	意見なし
<課題>		入院・入所などで、契約者の減少が続きました。		新規利用者の増加が課題である。	意見なし
<改善内容>		居宅介護事業所数カ所にパンフレットを持参し、直接依頼しました。		引き続き、新規利用者獲得のために事業改善、広報活動を尽力すること。	意見なし
(1-3) 利用者の満足度	A		A		(1-3) 利用者の満足度
①利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	毎年年度末にアンケートを実施していましたが、デイサービス休止の方向性が出ましたので今回は休止に対するご意見に絞って用紙を配布しました。	A	アンケートを実施し、利用者の意見の把握に取り組んだ。	意見なし
②利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	数名の方から休止は反対の意見をいただきました。その他多くの方からも様々な意見が寄せられ、職員全員で意見を聴き社協本部及び市に対して伝えました。	A	アンケート結果を受けて、丁寧な対応に努めた。	意見なし
③利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	29年度はありませんでした。	A	引き続き、適正な運営に努めること。また、苦情があった際は、迅速に処理を行うこと。	意見なし
④アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	様々な場面(送迎中の車の中、入浴中、看護師の健康チェック中等に職員が意識して利用者の意見を聴くように心掛けました。	A	日々の運営の中で、利用者の意見をくみ取れるよう、職員に周知徹底している。	意見なし
⑤サービスの質を向上させるため具体的な取り組みを行ったか。また、取り組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	手芸や編み物、アクセサリー作り等の指先を動かす作業が好評で難しいところは職員も手伝い完成度の高い作品になりグリーンフェスタ(地域の文化祭)に出展し家族の方にも好評でした。	A	手芸に加えアクセサリー作りをレクリエーションとして取り入れ、認知症予防にもつなげている。利用者、家族ともに満足度が高い点も評価できる。	意見なし
<課題>		利用者さんの思いをケアマネジャーに詳しく具体的に伝えて、他施設への移行を円滑に進めることです。		引き続き丁寧な説明と情報提供に努めること。	意見なし
<改善内容>		近隣施設のサービス内容等の情報を集めてケアマネジャーに伝えました。		引き続き丁寧な説明と情報提供に努めること。	意見なし

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改
	善	善

施設名	川西市緑台デイサービスセンター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	
区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	B		C		2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	
(2-1) 経費の節減	B		B		(2-1) 経費の節減	
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	D	電気・ガス・水道の経費節減に努めていましたが、8月の請求で電気代が倍以上になりました。 電気点検業者に調査を依頼しましたが設備に異常はなく原因は分からずおそらく外調機(エアコンと同じ機能の外気導入機)の電源が入りっぱなしになっていたのではなかの意見でした。	D	経費の削減に向けて、適正な管理運営に努めること。		意見なし
② 管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	機器の修理、交換については複数業者の見積もりを実施しています。 簡単な修理については職員が修繕しています。	A	施設で修理可能な不具合については内部で対応され、業者委託が必要な場合においても複数業者から見積もりを取るなど適切に対応している。		意見なし
< 課題 >		日々終業時の各電気機器の電源の確認する。		確認を徹底してください。		意見なし
< 改善内容 >		確認マニュアルを作成し掲示しました。		確認マニュアルの実施を徹底し、再発防止に取り組むこと。		意見なし
(2-2) 収入の増加	A		C		(2-2) 収入の増加	
① 収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。	A	居宅介護支援事業者に空き情報の提供を行うとともに自治会行事に参加しパンフレットの配布を行いました。	C	新規利用者獲得に向け、居宅介護支援事業所に対して空き状況等の情報提供を継続的に行っているが、新規利用者の増加にはつながっていない。		意見なし
② 収入の増加など取り組みの効果は得られたか。	C	契約者の減少により、収入の増加にはなりませんでしたが。	C	新規利用者獲得に向けて取り組んでいるが、利用者の増加には至っていない。 施設において最良と思われる広報活動に取り組むこと。		意見なし
< 課題 >		利用者増加のために居宅介護事業所に空き情報の提供をする。		新規利用者の増加が課題となる。		意見なし
< 改善内容 >		居宅介護事業所数カ所にパンフレットを持参し直接依頼しました。		引き続き、新規利用者獲得のための事業改善、広報活動に尽力すること。		意見なし
(2-3) 収支のバランスなど	C		C		(2-3) 収支のバランスなど	
① 収支のバランスは、適切であったか。	D	利用定員を30人から20人に変更し、介護職員の勤務日数を減少させ運営を行いました。が利用者の減少により収支のバランスは取れませんでした。(前年比751人の減)	D	新規利用者獲得に向け、居宅介護支援事業所に対し空き状況等の情報提供を継続的に行っているが、実現には至っていない。		意見なし
② 費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。	C	節水、節電を心がけましたが、8月に電気代の増加がありました。	C	作成した確認マニュアルを周知徹底するとともに、再発防止に取り組んでいる。		意見なし
③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。	A	収支の内容において、不適切な点はありませんでした。	A	支払い手続き等に関しては問題なく、適切に管理している。		意見なし
< 課題 >		節約を確実な方法で実施することです。		確認を徹底してください。		意見なし
< 改善内容 >		エアコン、外調機のスイッチの所に「退出時 OFF 確認」の指示書を貼り、改善に努めました。		確認マニュアルの実施を徹底し、再発防止に取り組むこと。		意見なし

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	含	要
	改	善

施設名	川西市緑台デイサービスセンター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】			
(3-1) 管理運営の実施状況	A		A		(3-1) 管理運営の実施状況			
①法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	法令に基づいた人員配置を行い、利用者の数に応じて介護職員の勤務を変更しました。	A	適切な人員配置をしながら、加配になる場合にはその都度調整を行うなど工夫している。	意見なし			
②法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	認知症、法令遵守、AED等の研修に参加し、職場内で情報を共有し、職員の資質向上に努めました。	A	様々な研修に参加し、かつその情報を職員間で共有するなど、効果的な体制を整えている。	意見なし			
③経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	施設管理業者と契約し消防設備、電気設備、エアコン、ボイラー、貯水槽等の点検を適切に行い、設備の良好な状態の維持に努めました。	A	大きな故障・事故を未然に防ぐため定期的に点検を実施するなど、適切な維持管理に努めている。	意見なし			
④施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	デイサービス職員(指導員・介護職員)による老人福祉センター利用者や近隣住民に対する介護相談を受けました。	A	施設の特性を併設施設においても介護相談等の形で活かし、かつ定着化を図るなど、高齢者福祉に貢献している。	意見なし			
< 課題 >	デイサービス休止に向けて利用者の移行を円滑に進めることです。		引き続き丁寧な説明と情報提供に努めること。		意見なし			
< 改善内容 >	ケアマネジャーとよく連絡を取り、利用者の方を円滑に他施設に移行していただくよう働きかけました。		引き続き丁寧な説明と情報提供に努めること。		意見なし			
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など			
①法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	保険請求業務の適正化の為、請求担当者、事務局次長の確認を求める書式を作成しました。	A	法令に沿って適切に運営している。昨年度には内部のチェック体制を強化するためプロジェクトチームを設置するなど適正化を図っている。	意見なし			
②施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報の扱いについては契約時に説明をし、施錠の出来る保管庫に保管しています。	A	個人情報保護の意識を徹底し、情報の管理についても利用者の同意を得て適切に管理している。	意見なし			
③日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	ヒヤリハットを記録し、その内容を各職員がいつでも見れるよう決まった場所に置き、各自確認したらサインをするようにしてスタッフ全員が事故防止の意識を持つよう心掛けています。	A	ヒヤリハットの情報共有を常時行えるようにし、職員全員が事故防止の意識を持って職務に当たっている。	意見なし			
④防火、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	防火体制の自衛消防隊組織図に基づき避難訓練を年2回実施しました。また、防犯カメラを玄関入口付近に設置しモニターで確認しています。	A	防災マニュアルを整備し、避難訓練も年2回行っている。また、防犯カメラを設置するなど、危機管理の更なる改善に努めている。	意見なし			
⑤事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	事故発生時対応マニュアルを作成し適切な対応が出来るようにしています。	A	緊急時用のマニュアルを整備し、実際に対応している。	意見なし			
⑥利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。					意見なし			
⑦利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。	A	居宅支援計画に基づき通所介護計画を作成し、利用者の望む支援を提供させていただきました。	A	法令に則って、受け入れを適切に行っている。	意見なし			
< 課題 >	法令遵守体制の研修や内部監査を継続して実施します。		特になし。		意見なし			
< 改善内容 >	デイサービスの休止に伴い職員体制も変わるので、より安全・安心な管理体制の構築に努めます。		デイサービスの休止後も安全・安心な管理体制を維持すること。		意見なし			

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改
	善	善

施設名	川西市緑台デイサービスセンター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】				
評価ランク	A			B					
・評価できる内容	社協が運営するデイサービスとして他施設では受け入れが困難な利用者の体験利用を受け入れたり、満寿荘入所者など新規利用に繋げました。		他の民間施設では受け入れが困難とされた方にも積極的に声をかけ利用につなげるなど、施設の目的に沿った運営が行われている。		意見なし				
・平成29年度に改善した内容	利用定員を30人から20人に変更し、職員体制を見直し収支の改善を図りました。		利用定員を縮小し、職員体制を変更することで、支出を見直し、収支バランスの改善を図った。		意見なし				
・平成29年度に改善したことによる効果	利用定員を20人に変更したため、職員の勤務日数の見直しを行い、支出を削減しました。		職員体制を見直し、抜本的な支出の削減に取り組むことで、収支の均衡を図った。		意見なし				
・問題があり次年度以降改善が必要な点	平成30年9月で休止が決定しました。利用者の他施設への円滑な移行が求められます。		収支バランスの改善を目指して、支出削減に取り組んだが、利用者の減少による減収が著しく、収支バランスの改善に至らないため、休止が決定した。今後は、利用者のスムーズな移行を支援するために、丁寧な説明と情報提供に努める必要がある。		意見なし				
・改善方法とその時期	平成30年9月で休止の方向性が決定しました。利用者の他施設への移行が求められ、ご本人や家族、ケアマネと相談して連絡を密にして情報の共有をはかり、円滑に移行が出来るように努めます。		平成30年9月の施設休止まで利用者の円滑な移行に努めること。		意見なし				

【記入上の留意点】

- 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。
- 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。